

## 150人が腕を競う

第9回素人そば打ち団体戦十勝大会ほか4大会が開催

第9回素人そば打ち団体戦十勝大会ほか4大会（全十勝蕎麦推進協議会主催）が6月18日、町公民館で行われ、全国各地から150人が集まり、そば打ちの腕を競いました。団体戦には新得町から2チームが参加。団体戦では、ほとんどのチームがユニークな衣装をして臨んでおり、会場は真剣さと笑いが入り交差していました。

また、素人そば打ち段位認定十勝大会には、町内から2段位に3人（齋藤敏次さん、山田勝彦さん、大内美千代さん）、初段位に5人（斉藤祥宏さん、奥山宏さん、西川仁さん、佐藤秀司さん、佐々木博康さん）が挑戦し、見事に全員が合格を果たしました。



## パフォーマンズに期待

7月14日に「大日本プロレスインしんとく」が開催

7月14日に町公民館ふれあいホールで開催される「大日本プロレスインしんとく」を前に、大日本プロレスのアブドゥラ小林選手と実行委員会のメンバーが6月15日、浜田正利町長を訪問し、PRを行いました。



## 広報モニターからの声

広報モニターさんから「広報しんとく6月号」を読んだ感想・ご意見をいただきましたので、その内容をお知らせします。

▼特集記事で、子育てに関する内容が事業や支援内容、おすすめスポットなどが単元別に分かれており、時間や料金など非常に明確でした。緊急時は特に、普段利用していても細かいところは意外と忘れがちなので、このページを保存版にしても良いくらいです。「子育てサポートする2つの施設」で基本的な対応場所が子育て支援センターが子どもセンターなかと、子ども発達支援センターは小学校内にあることを明記していただければ、特に利用されていない方も把握しやすいかと思いました。私自身、一児の親ですが新得町は子育てに対して非常にきめ細かい対応をしている町だと思います。また子どもたちの個性を尊重し、伸び伸びとした成長を促すなど少人数ならではの良さ。

▼毎号、写真を中心にしながらイラストを併用し適所に書体を変え、非常に分かりやすい構成だと思えます。チャレンジデーと運動会のページの写真が小さく、かつ写っている人も小さく複数人写っているのでは、

全体が細々して見づらく感じましたが、多くの人が参加して頑張っている雰囲気は伝わりました。

▼さまざまな町の動きや話題などが子供か高齢者に偏っており、労働人口が少なく中間層が弱い新得町の実情を物語っているかと思えます。多くは仕事を中心となっているため話題には乏しいのかもしれない。我々自身もより魅力的な話題性のある活動を行い、外に排出することで町内外に新得町の魅力をよりPRしていく必要があると感じました。

### 皆さんからの声も ぜひお寄せください！

町政への意見や質問、暮らしの中で感じていることや疑問に思っていること、広報紙を読んだ感想や特集してほしいことなど、気軽に聞かせください。

まちづくりレター、Eメール、FAXなどで受け付けています。

\*匿名での投稿はご遠慮ください。

## ひびく手話講座

～No.24～

〇わかん



1回～2回、胸をなで下ろす

〇わかん



右手指先で右胸脇を2回払い上げる

【この手話は、「町手話に関する基本条例研究会」が作成したポスターから抜粋して掲載しています】

### お詫びと訂正

広報しんとく6月号の13ページ目、国道38号線環境美化活動の中で「新得町花と道の会」会長を「阿部範夫」さんとしていましたが、『青柳茂行』さんの誤りでした。お詫びして訂正します。

※4月以降にまちづくりレターでいただいたご意見などを掲載していきます

## ボイスー町の声ー



### ●第8期総合計画について

①計画の説明の徹底について  
第8期総合計画のタイジエスター版を配布しただけでは、計画の内容は町民に伝わらない。町民を対象とした総合計画説明会を地区ごとに開催して、詳細に説明しなれば伝わらないと思う。（担当課長からの説明が詳細です）

地域福祉計画についても同様に考える。町民に対して説明が必要な計画については、計画ごとに開催のうえ、詳細に説明しないと内容は伝わらないし、町づくりに繋がらない。

説明会等に行けるだけ多く人数を集める工夫や、若者の意見を聞く場の設定など、一人でも多くの町民が町づくりに参加する仕組みづくりを推進していきます。

②施策評価の町民参画について  
総合計画の評価・点検については、毎年度町民アンケートを実施してほしい。アンケートの実施は、より多くの町民がまちづくりに参画することに繋がる。町民意識の把握も5年スパンでは長すぎる。（70歳代・男性）

### お答えします

①必要性も含めて内部での議論が必要となりますが、可能なことは改善していきます。

②アンケートについては、毎年60世帯程度を抽出して実施し、5年間で全世帯を網羅するように取り組んでいきます。（地域戦略室地域戦略係）

### ●町営の共同墓地について

町が管理する共同墓地を造ってください。長年住んだ新得の地に骨を埋めたいと考えていますが、特定の宗教を信仰していません。自分の死後、維持管理を思うと墓を建てる気はありません。事前に一定の金額を納めると骨を保管してくれる共同墓地があるのではないかと利用したいのです。（70歳代・男性）

### お答えします

現在、公営の共同墓地（合同納骨塚）は十勝管内では帯広市が平成27年度から設置しています。本町においても「墓の継承者がいない」、「経済的な問題」などで、共同墓地を望む方がいらっしゃることは認識しております。今後は、新得町に合った共同墓地のあり方を考えていきます。（町民課生活環境係）

